恋＜友情　＝　失恋

沙織

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
恋＜友情　＝　失恋

【Ｎコード】
Ｎ６６２７Ｄ

【作者名】
沙織

【あらすじ】
俺がお前のこと好きだったことは忘れんなよ

『ねぇ、悠？』

「なに？」

『どう…かな？』

「うん、いいんじゃない？」

『似合ってる？』

心配そうに聞いてくる夏樹がめっちゃ愛しい。

「おぅ、似合ってるよ」

『ホント？』

素直に喜ぶ夏樹も愛しい。

「何処か行くの？」

『うん、お出かけ。』

「へぇ～、またクラスのやつか？」

『ううん、今日は別の子。』

「もしかして、男？（笑」

冗談のつもりで言ったら、夏樹は黙ってしまった。

「男…なんだ…？」

『う、うん…』

「もしかして…章…？」

『うん。』

「そういや夏樹、あいつのこと好きって言ってたもんな。楽しんで来いよ。」

『うん、ありがと。』

「まだ、行かなくていいの？」

『あっ、行かなきゃ』

「頑張れよ。」

『うん、ありがと。』

ホントは嫌、すっげー嫌。

俺は…ずっとずっと夏樹が好きだった。

もちろん、今も。

でも…アイツは章が好きなんだ。

何度も諦めようと思った。

だけど…諦め切れないんだ。

♪～～～

その夜、俺の携帯が鳴った。

「はい、もしもし。」

『あっ、悠輔？」

「なんだ、章か。」

『今、ちょっと外出れる？』

「おう。」

『じゃ、いつものとこで。』

俺は、重い身体を起こして外に出た。

『あっ、こっちこっち！！』

「なんだよ、急に。」

『あのな、相談があるんだ。』

「章からなんて、珍しいなぁ。」

・・・・・

～～～翌日～～～

『悠、おはよ。』

「おはよ。」

『どうしたの？元気ないけど…』

「そんなことないよ？」

『ホント？』

「あぁ。それより、昨日楽しかった？」

『うん、楽しかったよ。』

「よかったじゃん。」

夏樹…頼むから…あっち行ってくれ。

もう、夏樹の顔…見てられないんだよ…

早く、放課後になれ…

「はぁ…」

俺は放課後の教室でたった一人机で寝ていた。

傾いてく夕日を見ながら…考えていた。

『俺、好きな子できたんだ。』

『俺、明日の放課後夏樹に告白するわ。』

「…なんで…俺は夏樹と出会っちゃったんだろ…」

泣いたら、駄目だ。

泣いたら…いけないのに…涙は止まらなかった。

あっという間に制服の袖が涙で濡れた。

視界がボヤけて、目の前は夕日の色に染められて…ろくに見えなかった。

『…悠…？』

すぐ近くで俺を呼んでいる声がする…それは紛れもなく夏樹の声だった。

「な…なに？」

『…大丈夫…？』

「大丈夫大丈夫、目にゴミが入っただけだから。」

見え透いた嘘だってわかってても…ごまかすことしか出来なかった。

『ごめんね…悠…』

「なんで謝んだよ。」

『…アタシ…』

「章に呼ばれてたんだろ？」

『え？』

「告白されたんだろ？」

『どうして…』

「昨日、章に言われたんだ。明日夏樹に気持ち言うって。」

『悠…』

「大好きな相手なんだから…もう俺に近づくな。」

『え…？』

「俺と今までどおりしてたら…章…ヤキモチ妬くぞ。」

『悠…』

「もう、話かけんな…もう、誘うな…もう、俺の部屋に上がりこむな。」

『…悠…』

「俺は…きっぱり…お前を諦めるから…だから…協力してくれよ…」

『え？』

「…ホントに…夏樹を好きになれてよかった…」

『悠…』

俺はそのまま鞄を握り締めて教室を出ようとした。

けど…後ろから夏樹が抱きついてきた。

「離せよ、なぁ…頼むから…離してくれよ。なぁ、夏樹!!」

『やだ、アタシが納得するまで離さない。』

「なぁ…俺すげー辛いんだよ。」

『ごめんね、悠…アタシ…ずっとずっと悠が一番だったよ。』

その言葉を言った途端、背中にくっついていた夏樹が離れた。

『悠…バイバイ。』

泣き顔で…バイバイって言われたら…悲しくなるじゃんか。

「…おぅ、バイバイ。」

俺は、びしょ濡れの制服の袖で顔を拭って再び歩き出した。

「夏樹っ!!」

『なに?』

たった一言……

・・・俺がお前を好きになったこと・・・絶対忘れんなよ。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n6627d/

恋＜友情　＝　失恋

2011年1月20日02時21分発行